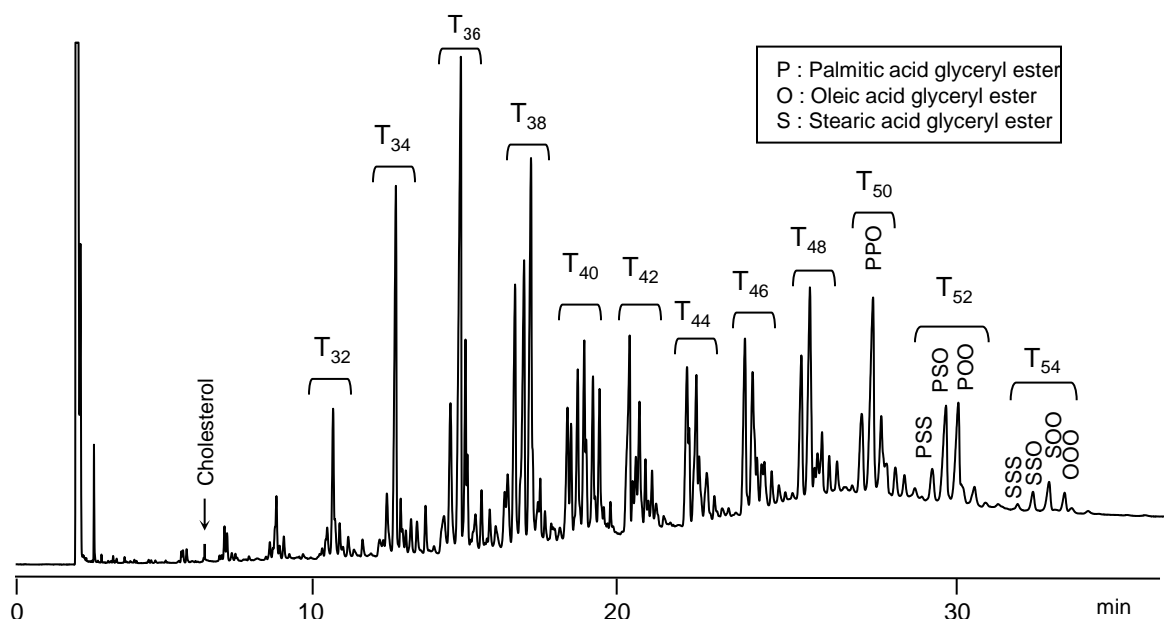


トリグリセリド分析専用カラム Ultra ALLOY®-TRGを用いたバターへの分析

Ultra ALLOY®-TRGは、バター・なたね油・大豆油等のトリグリセリドの各構成成分を分離分析することを目的として、開発したカラムです。

このカラムは、強極性の65% diphenylpolysiloxaneの固定相液体を化学結合させて安定なポリマーを形成させて製造しているため、高温でも低ブリードの特性を示します。下図に示すバターのクロマトグラムでは、T₅₄等と示した炭素数分布に加えて、ステアリン酸(S)、オレイン酸(O)とパルミチン酸(P)の構成成分からなるトリグリセリドの各ピークが明瞭に分離しており、これらの結果からバターの特性を考察することができます。またこのカラムは、現在大豆油などをはじめとして、多くの油脂成分分析にも使用されています。分析のポイントは、注入試料量の増加によりピーク分離状態が大きく影響されるため、できるだけ薄い試料濃度として分析することです。また試料は注入口のインサートが活性であると容易に熱分解しやすいため、そのインサートは不活性化処理が必要です(弊社では、不活性化処理済石英インサート(HP製GC用のみ)を用意しております)。

仕様: Ultra ALLOY®-TRG (65% diphenylpolysiloxane), 30 m (0.25 mm i.d.) 0.1 μm, Max.Temp. Iso.360°C / Prog.370°C



分析条件	Column	: Ultra ALLOY®-TRG (65% diphenylpolysiloxane) 30 m (0.25 mm i.d.) 0.1 μm
	Oven temp.	: 260→5°C/min→360°C (15 min)
	Injector	: Split 1/50 at 300°C
	Detector	: FID at 350°C
	Carrier gas	: He, 20 psi
	Sample size	: 1.0%, 1.0 μL (solvent n-C ₆)

Keywords : トリグリセリド, バター, Ultra ALLOY®-TRG

使用製品 : 多機能パイロライザー, UA-TRG

応用分野 : 油脂, 食品分析

関連テクニカルノート :

お問い合わせは、FAXまたはウェブサイトの問い合わせフォームをご利用ください。

研究開発・製造 **フロンティア・ラボ株式会社**
Tel: 024-935-5100 Fax: 024-935-5102
<http://www.frontier-lab.com/>